



2023年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2023年2月2日

上場会社名 株式会社ダイセル
 コード番号 4202 URL <https://www.daicel.com>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 小河 義美

上場取引所 東

問合せ先責任者 (役職名) 執行役員 事業支援本部副本部長(兼) IR広報グループリーダー (氏名) 廣川 正彦
 TEL 03-6711-8121

四半期報告書提出予定日 2023年2月13日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家・アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

1. 2023年3月期第3四半期の連結業績(2022年4月1日～2022年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2023年3月期第3四半期	404,513	17.9	36,566	△6.9	39,766	△7.9	29,548	25.7
2022年3月期第3四半期	342,979	21.9	39,281	109.8	43,181	113.5	23,502	109.2

(注) 包括利益 2023年3月期第3四半期 30,930百万円 (△15.6%) 2022年3月期第3四半期 36,664百万円 (66.9%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2023年3月期第3四半期	100.18	—
2022年3月期第3四半期	78.02	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2023年3月期第3四半期	758,173	292,681	37.6	985.93
2022年3月期	698,836	279,544	38.9	919.88

(参考) 自己資本 2023年3月期第3四半期 285,056百万円 2022年3月期 272,017百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2022年3月期	—	16.00	—	18.00	34.00
2023年3月期	—	18.00	—	—	—
2023年3月期(予想)	—	—	—	20.00	38.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2023年3月期の連結業績予想(2022年4月1日～2023年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	579,000	23.7	54,000	6.5	59,000	3.0	41,000	31.2	138.44

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

2023年3月期3Q	302,942,682 株	2022年3月期	302,942,682 株
------------	---------------	----------	---------------

② 期末自己株式数

2023年3月期3Q	13,818,817 株	2022年3月期	7,234,296 株
------------	--------------	----------	-------------

③ 期中平均株式数(四半期累計)

2023年3月期3Q	294,939,316 株	2022年3月期3Q	301,233,559 株
------------	---------------	------------	---------------

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

連結業績予想は、現時点で入手された情報に基づき判断したものであり、実際の業績は様々な要因により、これらの業績予想とは異なることがありうることをご承知おきください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報等)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間の世界経済は、新型コロナウイルスの感染拡大による影響からの持ち直しの動きが続いたものの、中国でのロックダウンや半導体不足などによる自動車減産、ウクライナ情勢も影響した原燃料価格の上昇や世界的なインフレの進行、物流の混乱、為替の変動など、先行き不透明な状況のうちに推移しました。

このような環境の中、当社グループでも中国のロックダウンや自動車生産の影響を受け、一部製品の販売数量が減少したものの、需要が伸長する製品については販売機会を着実に捉え販売数量を伸ばすとともに、高騰する原燃料価格や物流費の販売価格への転嫁、徹底したコストダウンを実施してまいりました。

当第3四半期連結累計期間の売上高は4,045億13百万円（前年同期比17.9%増）、営業利益は365億66百万円（同6.9%減）、経常利益は397億66百万円（同7.9%減）、親会社株主に帰属する四半期純利益は295億48百万円（同25.7%増）となりました。

セグメント別の経営成績は、次のとおりであります。

なお、当連結会計年度より、各事業が負担すべき費用を負担し、グループ全体の利益への貢献に責任を持って事業運営する体制に移行するため、全社共通費用を全て各事業に配賦する方法に変更しています。前年同期比較については、前年同期の数値を変更後の配賦方法に基づき組み替えた数値で比較しております。

[メディカル・ヘルスケア事業]

コスメ・健康食品事業は、中国のロックダウンの影響などにより化粧品原料の販売数量が減少したものの、原燃料価格上昇に伴う販売価格の是正や、健康食品素材の販売数量が増加したことなどにより、増収となりました。

ライフサイエンス事業は、キラル関連製品の販売やインドでの分析サービスなどが好調に推移したことや、為替の影響により、増収となりました。

当部門の売上高は、164億79百万円（前年同期比13.0%増）、営業利益は、減価償却費の増加などにより、10億76百万円（同41.9%減）となりました。

[スマート事業]

液晶表示向けフィルム用の酢酸セルロースや高機能フィルムなどのディスプレイ事業は、高機能フィルムの販売数量が新規採用により増加したものの、液晶パネルの在庫調整の影響により、酢酸セルロースの販売数量が減少し、減収となりました。

電子材料向け溶剤やレジスト材料などのIC/半導体事業は、液晶パネル材料向けの販売数量が減少したものの、需要が堅調な半導体材料向けの販売数量の増加や、原燃料価格上昇に伴う販売価格の上昇などにより、増収となりました。

当部門の売上高は、232億17百万円（前年同期比3.4%減）、利益面では、販売数量の減少や原燃料価格の上昇などにより、営業損失2億9百万円（前年同期は営業利益36億47百万円）となりました。

[セイフティ事業]

自動車エアバッグ用インフレーター（ガス発生装置）などのモビリティ事業は、半導体不足や中国のロックダウンによる自動車減産の影響を受けたものの、自動車生産が回復傾向にあり販売数量が増加したことや、為替の影響などにより、増収となりました。

当部門の売上高は、621億10百万円（前年同期比23.4%増）、営業利益は、米国での人件費の増加などにより、8億58百万円（同64.5%減）となりました。

[マテリアル事業]

酢酸は、定期修繕に伴う販売調整や、前期高騰した酢酸市況の軟化により、減収となりました。

酢酸誘導体は、酢酸エチルの販売数量増加などにより、増収となりました。

アセテート・トウは、前年同期の減収要因であった会計基準変更の影響が無くなったことや、加熱式たばこ用の需要増加などによる販売数量の増加、原燃料価格上昇に伴う販売価格の是正、為替の影響などにより、増収となりました。

カプロラクトン誘導体やエポキシ化合物などは、自動車向け塗料保護フィルム用途の需要拡大によりカプロラクトン誘導体の販売数量が増加したことや、原燃料価格上昇に伴う販売価格の是正、為替の影響などにより、増収となりました。

当部門の売上高は、1,135億6百万円（前年同期比27.2%増）、営業利益は、原燃料価格の上昇や、全社共通費用配賦額の増加などにより、136億58百万円（同1.9%減）となりました。

[エンジニアリングプラスチック事業]

ポリアセタール樹脂、PBT樹脂、液晶ポリマーなどポリプラスチック株式会社の事業は、日系自動車生産台数の減少予想による自動車部品メーカーの在庫圧縮の影響を受け、新型コロナウイルスの影響からの需要回復で販売数量が急増していた前年同期と比較して販売数量が減少したものの、継続的な販売価格の是正や、為替の影響により、増収となりました。

ABS樹脂、エンプラアロイ樹脂、フィルム、水溶性高分子などダイセルミライズ株式会社の事業は、販売数量の増加や、原燃料価格上昇に伴う販売価格の是正などにより、増収となりました。

当部門の売上高は、1,830億59百万円（前年同期比16.8%増）、営業利益は、販売価格の是正や、為替の影響などにより、208億68百万円（同24.9%増）となりました。

[その他]

その他部門は、防衛関連事業での販売数量が減少したことなどにより、減収となりました。

当部門の売上高は、61億39百万円（前年同期比23.5%減）、営業利益は、3億14百万円（同56.3%減）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

資産、負債及び純資産の状況

総資産は、棚卸資産及び有形固定資産等の増加により、前連結会計年度末に比し593億37百万円増加し、7,581億73百万円となりました。

負債は、支払手形及び買掛金、短期社債等の増加により、前連結会計年度末に比し461億99百万円増加し、4,654億91百万円となりました。

また純資産は、2,926億81百万円となりました。純資産から非支配株主持分を引いた自己資本は、2,850億56百万円となり自己資本比率は37.6%となりました。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2022年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2022年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	88,130	88,535
受取手形及び売掛金	102,562	105,826
有価証券	2,398	999
棚卸資産	142,002	178,088
その他	25,186	34,833
貸倒引当金	△32	△53
流動資産合計	360,247	408,230
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	61,408	64,561
機械装置及び運搬具(純額)	71,823	77,040
土地	31,660	32,836
建設仮勘定	60,279	69,479
その他(純額)	4,671	5,239
有形固定資産合計	229,843	249,157
無形固定資産		
のれん	363	350
その他	9,702	10,921
無形固定資産合計	10,066	11,272
投資その他の資産		
投資有価証券	73,246	64,719
繰延税金資産	2,474	2,286
退職給付に係る資産	8,686	9,402
その他	14,314	13,144
貸倒引当金	△42	△40
投資その他の資産合計	98,679	89,512
固定資産合計	338,589	349,942
資産合計	698,836	758,173

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2022年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2022年12月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	61,888	66,293
短期借入金	22,198	33,221
短期社債	—	34,000
1年内償還予定の社債	10,003	30,000
1年内返済予定の長期借入金	12,272	11,789
未払法人税等	5,529	4,101
修繕引当金	—	2,774
環境対策引当金	14	—
資産除去債務	194	—
その他	41,797	46,953
流動負債合計	153,898	229,135
固定負債		
社債	130,000	100,000
長期借入金	106,029	110,341
繰延税金負債	16,311	16,463
役員退職慰労引当金	89	70
修繕引当金	1,052	—
環境対策引当金	125	124
退職給付に係る負債	6,623	4,552
資産除去債務	1,255	1,285
その他	3,906	3,518
固定負債合計	265,394	236,356
負債合計	419,292	465,491
純資産の部		
株主資本		
資本金	36,275	36,275
資本剰余金	14	6
利益剰余金	174,500	193,394
自己株式	△6,090	△12,478
株主資本合計	204,699	217,198
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	36,813	31,567
繰延ヘッジ損益	27	43
為替換算調整勘定	25,966	30,495
退職給付に係る調整累計額	4,509	5,751
その他の包括利益累計額合計	67,317	67,858
非支配株主持分	7,526	7,625
純資産合計	279,544	292,681
負債純資産合計	698,836	758,173

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年12月31日)
売上高	342,979	404,513
売上原価	240,035	293,491
売上総利益	102,944	111,021
販売費及び一般管理費	63,663	74,455
営業利益	39,281	36,566
営業外収益		
受取利息	173	445
受取配当金	1,612	1,591
持分法による投資利益	1,550	1,817
為替差益	694	—
その他	1,422	1,023
営業外収益合計	5,453	4,878
営業外費用		
支払利息	1,015	1,097
為替差損	—	20
社債発行費	—	1
その他	537	558
営業外費用合計	1,553	1,677
経常利益	43,181	39,766
特別利益		
固定資産処分益	206	71
投資有価証券売却益	773	4,168
特別利益合計	980	4,239
特別損失		
固定資産除却損	1,156	1,034
減損損失	9,779	—
事業整理損	—	864
特別損失合計	10,935	1,898
税金等調整前四半期純利益	33,226	42,108
法人税、住民税及び事業税	8,180	9,640
法人税等調整額	1,065	2,067
法人税等合計	9,245	11,708
四半期純利益	23,980	30,400
非支配株主に帰属する四半期純利益	478	851
親会社株主に帰属する四半期純利益	23,502	29,548

(四半期連結包括利益計算書)
(第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年12月31日)
四半期純利益	23,980	30,400
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	6,011	△5,247
繰延ヘッジ損益	42	15
為替換算調整勘定	6,479	4,632
退職給付に係る調整額	△274	1,243
持分法適用会社に対する持分相当額	424	△114
その他の包括利益合計	12,684	530
四半期包括利益	36,664	30,930
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	35,802	30,088
非支配株主に係る四半期包括利益	862	841

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第3四半期連結累計期間(自2021年4月1日至2021年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント						その他 (注) 1	合計	調整額	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	メディカル・ヘルスケア	スマート	セイフティ	マテリアル	エンジニアリングプラスチック	計				
売上高										
外部顧客への売上高	14,585	24,040	50,348	89,223	156,755	334,953	8,025	342,979	—	342,979
セグメント間の内部売上高又は振替高	381	364	—	8,132	200	9,078	8,918	17,997	△17,997	—
計	14,967	24,405	50,348	97,355	156,955	344,032	16,944	360,977	△17,997	342,979
セグメント利益	1,851	3,647	2,419	13,929	16,714	38,562	718	39,281	—	39,281

(注) 1 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、メンブレン事業および運輸倉庫業等を含んでおります。

2 セグメント利益の合計額は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(単位:百万円)

	メディカル・ヘルスケア	スマート	セイフティ	マテリアル	エンジニアリングプラスチック	その他	全社・消去	合計
減損損失	9,779	—	—	—	—	—	—	9,779

(注) メディカル・ヘルスケアにおいて、今後は投下資本に見合うだけの十分なキャッシュ・フローの回収が見込めなくなったと判断し、固定資産及びのれんについて、減損損失を計上しております。当該減損損失の計上額は、当第3四半期連結累計期間において9,779百万円であります。

Ⅱ 当第3四半期連結累計期間（自 2022年4月1日 至 2022年12月31日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

（単位：百万円）

	報告セグメント						その他 (注) 1	合計	調整額	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	メディカ ル・ヘルス ケア	スマート	セイフティ	マテリアル	エンジニア リングプラ スチック	計				
売上高										
外部顧客への 売上高	16,479	23,217	62,110	113,506	183,059	398,373	6,139	404,513	—	404,513
セグメント間 の内部売上高 又は振替高	151	161	—	10,712	232	11,258	9,188	20,447	△20,447	—
計	16,631	23,378	62,110	124,219	183,292	409,632	15,327	424,960	△20,447	404,513
セグメント利益 又は損失 (△)	1,076	△209	858	13,658	20,868	36,252	314	36,566	—	36,566

(注) 1 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、メンブレン事業および運輸倉庫業等を含んでおります。

2 セグメント利益又は損失の合計額は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

3. 報告セグメントの変更等に関する情報

第1四半期連結会計期間より、報告セグメントごとの業績をより適切に評価管理するため、全社共通費用の配賦方法を見直し、報告セグメントの利益又は損失の算定方法の変更を行っております。

なお、前第3四半期連結累計期間のセグメント情報は、変更後の報告セグメント利益又は損失の算定方法により作成したものを記載しております。